証券コード:7472

“百年の信頼を未来につなげる”

2027年3月期
中間決算説明会資料

2026年11月10日(火)

株式会社鳥羽洋行

目　次

Ⅰ.2027年3月期2Q決算について

Ⅱ.今後の戦略及び見通し

株式会社 鳥羽洋行

＜連結損益計算書の概要＞

（単位：百万円）

	26/3月期 2Q	27/3月期 2Q	前期比（増減率）	備　考
売　上　高	14,421	16,708	15.9%	国内は前年同期比で大きく増加
営業利益	749	1,005	34.1%	売上総利益は前年同期比 17. 9%増 販売管理費は前年同期比 9. 3%増
営業利益率	5.2%	6.0%		
経常利益	802	1,079	34.6%	
経常利益率	5.6%	6.5%		
親会社株主に帰属する中間純利益	558	738	32.3%	
中間純利益率	3.9%	4.4%		

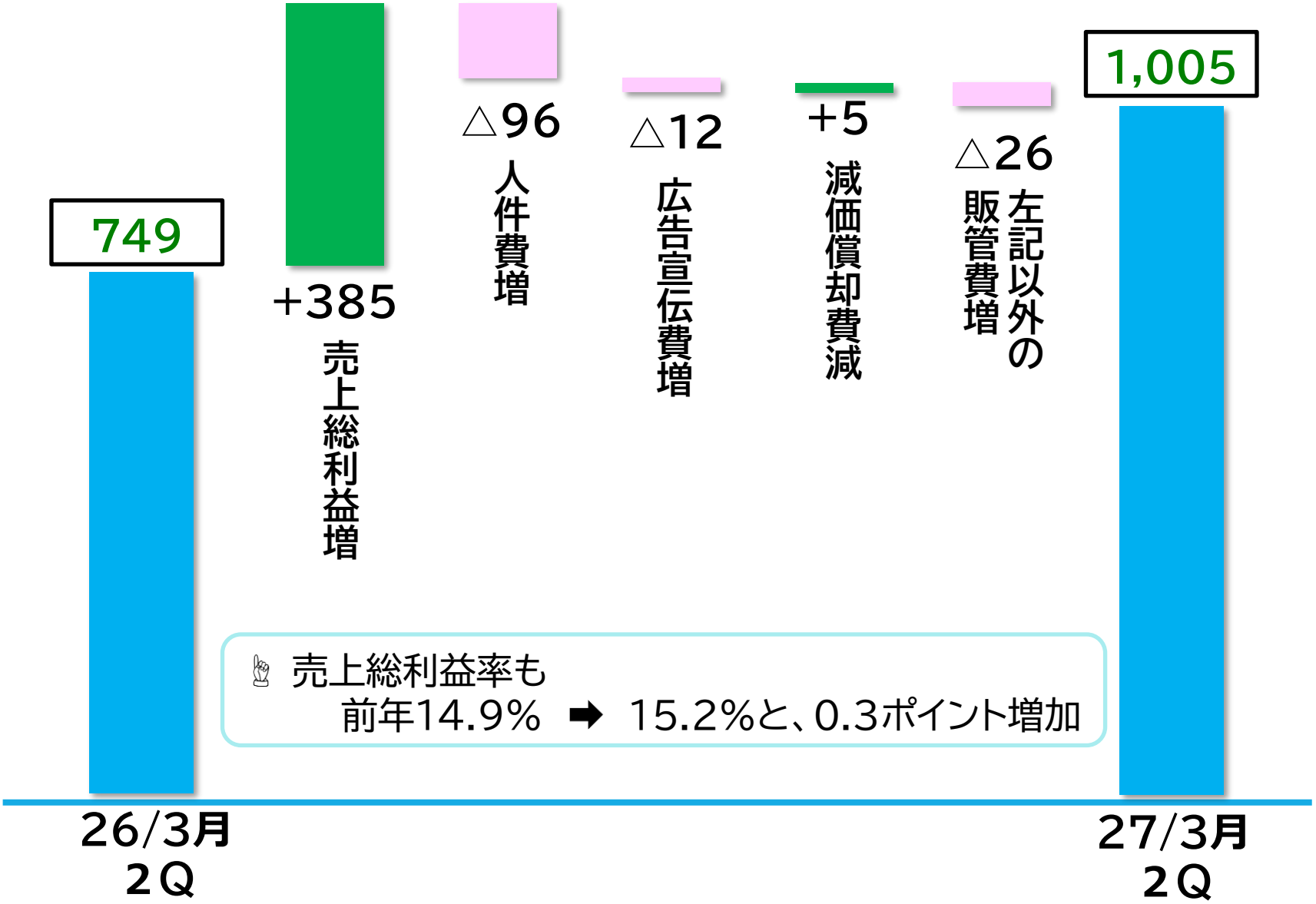
Point!

- 生成AI関連の高性能半導体及びデータセンター向け設備投資の需要拡大
- 自動車関連は、昨年からの米国関税政策の影響もあり、設備投資は消極的

株式会社 鳥羽洋行

＜連結営業利益増減分析＞

（単位：百万円）

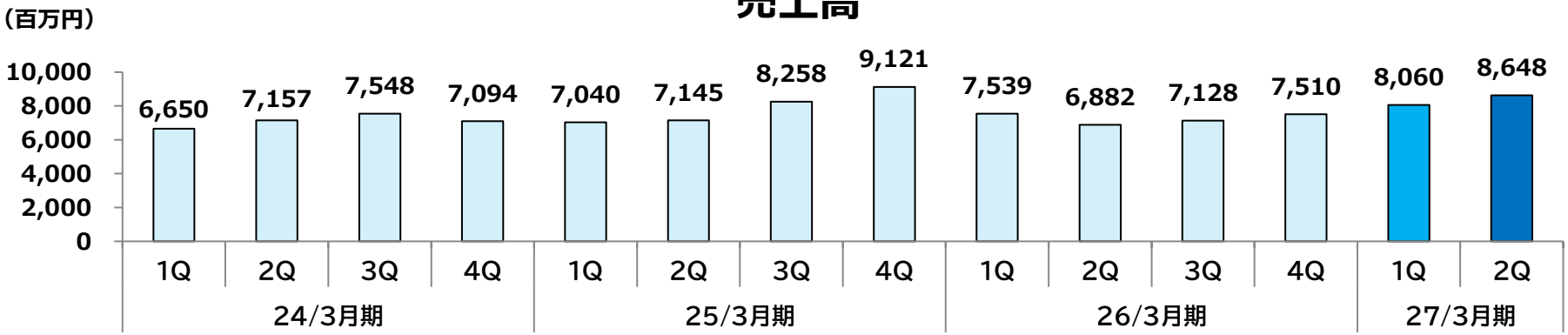


- 売上総利益率も
  前年14.9% ➡ 15.2%と、0.3ポイント増加

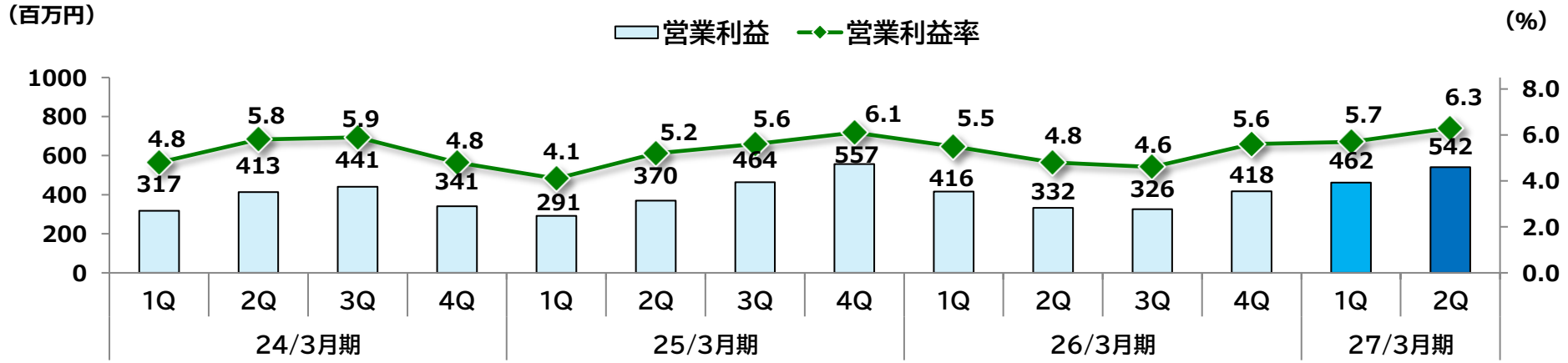
株式会社 鳥羽洋行

＜四半期毎の連結売上高・連結営業利益の推移＞

売上高



営業利益/営業利益率



Point!

●前期後半から、生成AI関連の半導体・電子部品関連得意先への売上が好調に推移。

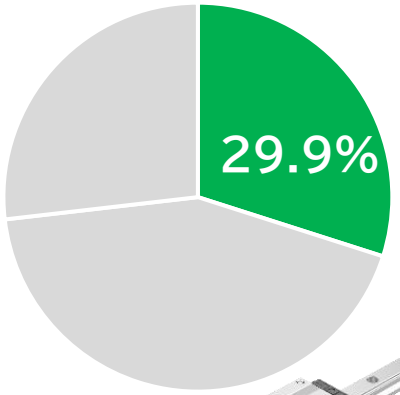
株式会社 鳥羽洋行

＜商品部門別実績＞

制御機器

連結売上高

49億96百万円





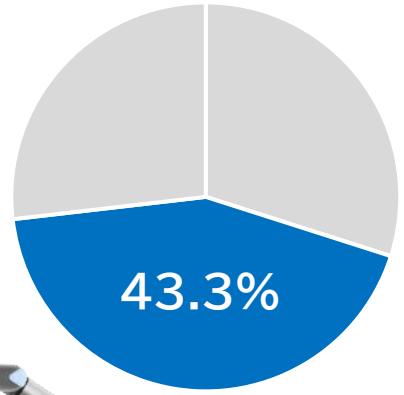
得意先の業種

デジタル機器/半導体・液晶製造装置/基盤実装機/自動車・車載部品/　工作機械等

FA機器

連結売上高

72億33百万円





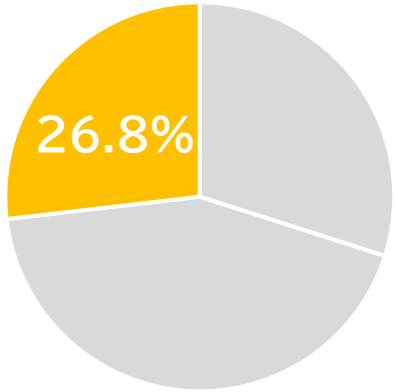
得意先の業種

デジタル機器/自動車・車載部品/半導体・液晶製造装置/OA機器/医療機器/食品機器等

産業機器

連結売上高

44億78百万円





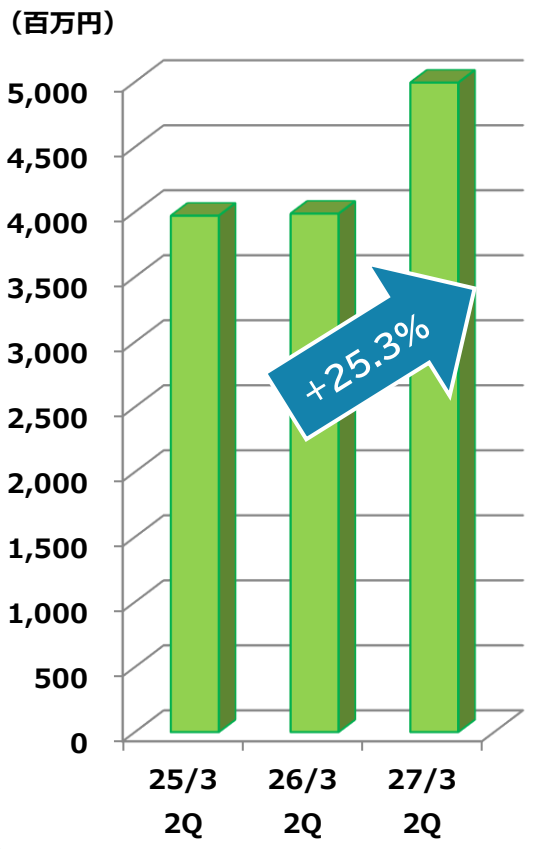
得意先の業種

デジタル機器/自動車・車載部品/半導体・液晶製造装置/精密機器等

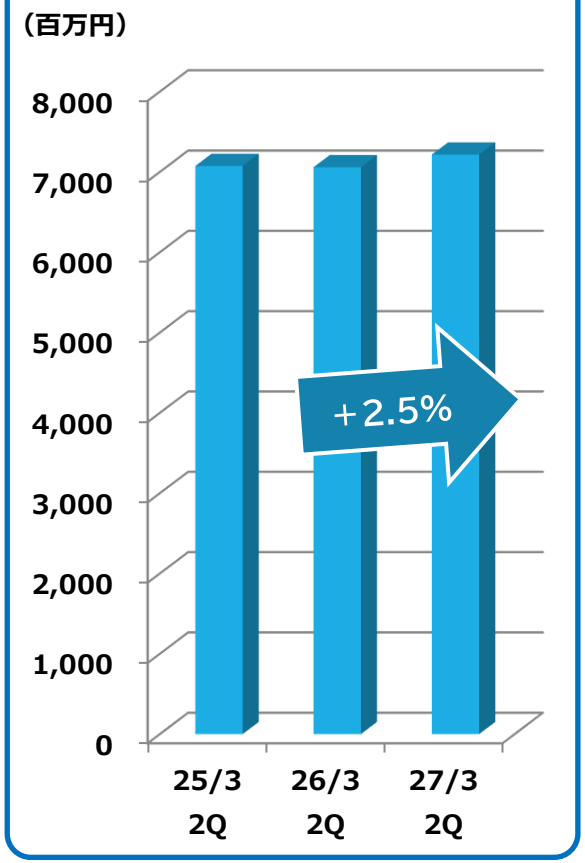
株式会社 鳥羽洋行

＜商品部門別実績推移＞

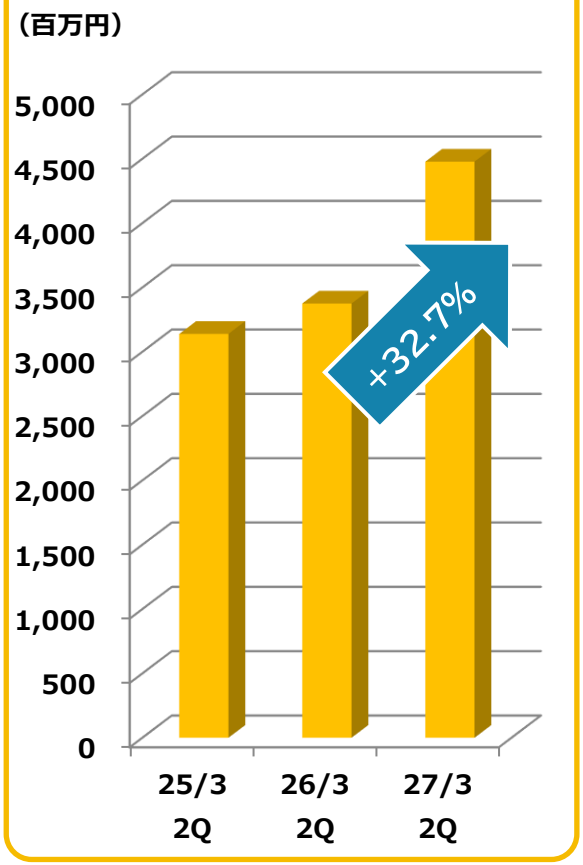
制御機器



FA機器



産業機器

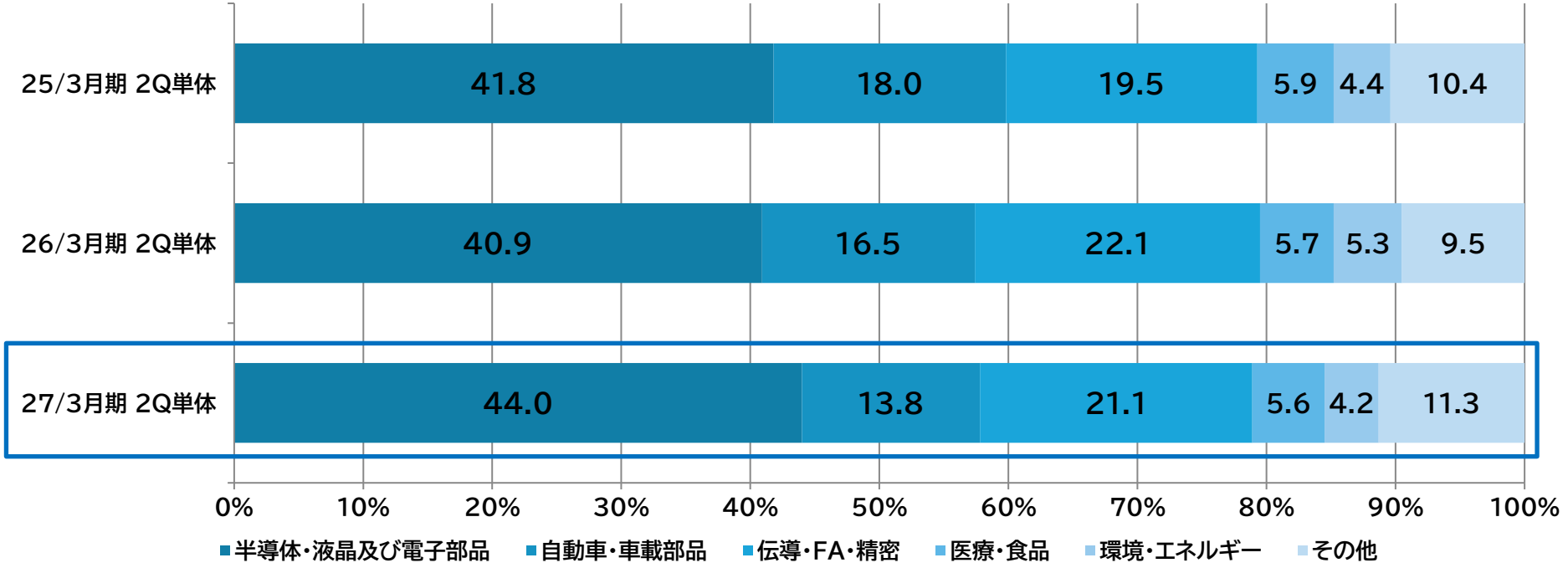


Point!

・制御機器：半導体製造装置向けの空気圧機器の販売が前期を上回る
・ＦＡ機器：自動車関連向け設備への表面実装機等が伸び悩み、横ばい
・産業機器：半導体関連向けのろ過フィルターの販売が好調に推移

株式会社 鳥羽洋行

＜業種別売上構成比(単体)推移＞



Point!

＜半導体・液晶及び電子部品＞
生成AI向けのデータセンター、高性能半導体関連設備投資が旺盛に推移(＋3.1P)

＜自動車・車載部品＞
昨年からの米国自動車関税政策の影響を受け、設備投資は消極的(△2.7P)

＜伝導・FA・精密＞
労働力不足による生産現場における自動化の流れは継続(△1.0P)

株式会社 鳥羽洋行

＜連結貸借対照表の概要＞

（単位：百万円）

	26/3月末	構成比（%）	26/9月末	構成比（%）	備　考
流動資産	20,884	71.5	20,315	67.7	
現金・預金	12,448	42.6	12,982	43.3	
受取手形・売掛金・電子記録債権	7,710	26.4	6,723	22.4	
商品	552	1.9	383	1.3	
固定資産	8,319	28.5	9,672	32.3	
資産合計	29,204	100.0	29,987	100.0	
流動負債	6,773	23.2	7,101	23.7	
支払手形・買掛金・電子記録債務	6,149	21.1	6,202	20.7	
固定負債	624	2.1	709	2.4	
負債合計	7,398	25.3	7,811	26.0	
純資産合計	21,806	74.7	22,175	74.0	
負債純資産合計	29,204	100.0	29,987	100.0	

Point!

- 構成比に大きな変化はございません。
- 実質無借金経営を継続しております。

株式会社 鳥羽洋行

＜連結キャッシュ・フロー計算書の概要＞

（単位：百万円）

	26/3月期 2Q	27/3月期 2Q	2027年3月期２Q CFの主な内訳
営業活動によるCF	595	2,243	・税金等調整前中間純利益の計上（＋1,084百万円） ・売上債権の減少（+1,046百万円） ・棚卸資産の減少（+173百万円） ・法人税等の支払（△203百万円）
投資活動によるCF	△33	△2,045	・定期預金の預入（△2,000百万円）
財務活動によるCF	△695	△761	・配当金の支払（△587百万円） ・自己株式の取得（△183百万円）
現金及び現金同等物に係る換算差額	△69	97	
現金及び現金同等物の増減額	△202	△466	
現金及び現金同等物の期首残高	10,472	12,448	
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,269	11,982	

Ⅰ.2027年3月期2Q決算について

Ⅱ.今後の戦略及び見通し

当社グループを取り巻く市場環境

◆ **半導体関連**

生成AIの普及を背景としたデータセンター等への設備投資が旺盛に推移し、総じて高性能半導体に係る設備投資は前期後半より好調に推移。一方、自動車向けパワー半導体については、昨年から自動車関連設備投資が低調で横ばい見込み。

◆ **自動車・車載部品業界**

自動車の生産台数は、昨年よりトランプ関税の影響を受け低迷。EV（電気自動車）向けの設備投資は鈍化傾向にあるが、HV（ハイブリット車）に関連する需要は継続して好調に推移する見込み。

◆ **自動化システム**

生産現場における労働力不足を補う自動化システム案件は継続的に増加傾向にあり、ロボットやFA機器の販売は底堅く推移する見込み。

◆ **環境負荷低減商材**

カーボンニュートラルに向けた取組みが拡大する中で、CO2排出量削減効果の高い商材の発掘、拡販により他社との差別化と企業価値の向上を目指す。
ペロブスカイト太陽電池等、新たな需要が期待できる。

TOBA 株式会社 鳥羽洋行

第6次中期経営計画

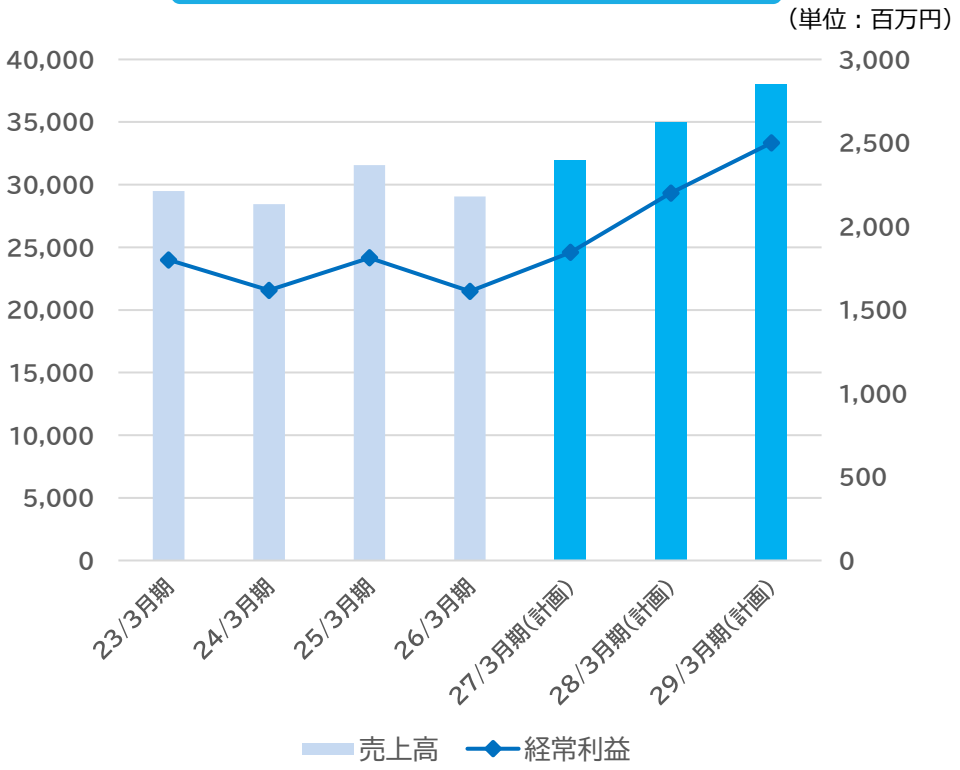
Next Stage 2029

～ 新たなステージへ ～

数値目標

（単位：百万円）	第78期 2027年3月期	第79期 2028年3月期	第80期 2029年3月期
売上高	32,000	35,000	38,000
営業利益	1,730	2,100	2,350
経常利益	1,845	2,200	2,500
当期純利益	1,240	1,500	1,650

連結売上高と経常利益の推移



※当社グループは、経営環境の変化等に対応すべく「ローリング方式」により、中期経営計画を毎年度策定することとしております。

＜2027年3月期の連結業績予想＞

（単位:百万円）

	第77期（2026年3月期）実績	第78期（2027年3月期）計画	前期比（増減率）
売上高	29,061	32,000	10.1%
営業利益	1,494	1,730	15.8%
営業利益率	5.1%	5.6%	0.5P
経常利益	1,612	1,845	14.4%
経常利益率	5.5%	5.9%	0.4P
親会社株主に帰属する当期純利益	1,107	1,240	12.0%
当期純利益率	3.8%	4.1%	0.3P

事業戦略　「5つの柱」

1　次世代の柱となるユーザー新規開拓、育成

・積極的な展示会出展と来場者フォローによる新規顧客開拓
・自動車・車載部品及び半導体関連顧客への販売強化
・M＆Aによるシナジーを活かした売上/利益の拡大

M＆Aによる事業規模の拡大
販路拡大に向け継続的に検討



2　新商材発掘（SDGs/環境や人にやさしい商品）

・生産性向上と労働負荷を低減できる新たな商材の発掘
・カーボンニュートラルに向けたサプライヤーとの連携強化

協働ロボットや小型～中型の
産業用ロボット販売に注力



3　装置ビジネスの更なる販売強化

・労働力不足を補う自動化装置とロボットの販売強化による売上増大



©Pudu Technology Inc. | SoftBank Robotics

4　技術商社としての存在価値強化（ブランド強化）

・各種専門資格等の取得による提案型営業推進及び営業研修拡充

5　販売ネットワーク強化

・新規海外拠点の検討
・海外子会社への人材積極投入

1. 次世代の柱となるユーザー新規開拓、育成

「業種別シェア拡大に向け、新たな社会需要を取り込む」



半導体・電子部品

生成ＡＩ/データセンター等の情報通信技術普及による中長期的な半導体関連設備投資は旺盛に推移。付加価値の高い商材を投入し市場拡大する。

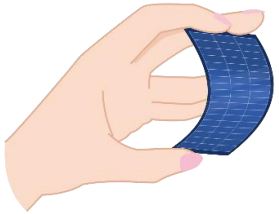


自動車・車載部品

既存顧客に加え、新規ＨＶ関連設備への商材と自動化システムを積極提案し、当社内シェアを２５％へ拡大。当社の主軸となる業種として育成する。

医療・食品

Ｍ＆Ａにより、理化学系商社を完全子会社化。当社業態と異なることから相互補完関係にあり、お互いの保有する優れた商材と販売ノウハウを共有し事業拡大を目指す。



環境・エネルギー

カーボンニュートラルへの各種政策が推進されており、環境負荷低減商材の更なる拡充を目指す。ペロブスカイト太陽電池等の需要取込みにも注力。



その他

政府が掲げる新たな成長戦略で投資が見込まれる航空/宇宙/防衛産業に関連した需要が拡大。新規・既存顧客からの設備投資引き合い案件が増加。

1. 次世代の柱となるユーザー新規開拓、育成

＜2026年度　大型展示会出展実績＞

●ものづくりワールド　機械要素技術展【名古屋】

会　場:ポートメッセ名古屋

開催日:2026年4月8日～10日

来場者数:2,115名

●第6回　工場の搬送と協働ロボット展

会　場:東京ビッグサイト

開催日:2026年7月15日～17日

来場者数:1,990名



各種協働ロボット　デモ実演



展示会場ブースの様子



近年、大型展示会への出展を継続しており、新規顧客開拓とブランド強化をはかっております。
また、全国の営業拠点ではお客様に向けた、各メーカーとの複合展、ミニ展、セミナー等を積極的に開催しており、地道な営業活動を展開しております。

2. 新商材発掘(SDGs/環境や人にやさしい商品)

＜人にやさしい商品＞

「協働ロボット」とは、本体に安全センサーを組み込むなど、人に対する安全性を確保できるようになったロボットです。
特別な安全対策を講じる必要が少なく、作業者のすぐ近くで使用できることから、導入の幅が広がっております。



カワダロボティクス㈱
NAXTAGE

ユニバーサルロボット
URロボット





㈱デンソーウェーブ
COBOTTA PRO

㈱不二越
ぶつからない協働ロボット「MZS05」





ヤマハ発動機㈱
YCO1300

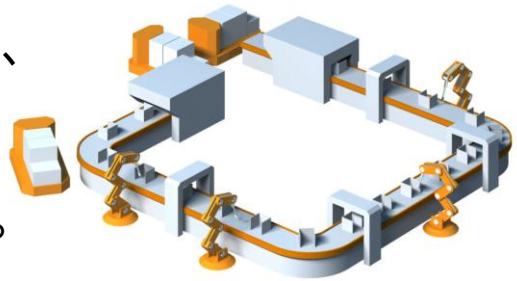
3. 装置ビジネスの更なる販売強化



FA PLANNER TOBA

◆直販の強みを活かし、お客様の声をダイレクトに取り入れ、
装置全体をトータルでソリューション提案を行います。

◆「FA Planner」として、お客様へ最適な提案を行います。



4. 技術商社としての存在価値強化（ブランド強化）

◇各種資格取得推進

当社は、技術系専門商社として必要なスキルを維持するため、営業担当者による各種専門資格の取得を推進しております。

＜各種資格の取得者数　（重複所持含む）＞　※2026年10月末時点の取得状況

空気圧装置組立技能士　１級	８４名
空気圧装置組立技能士　２級	６５名
SMC　SE認定	６４名
IAI　SE認定	６１名
デンソーロボット　SE認定	５３名
パナソニック IPD・モーター　SE認定	１名
２級建築施行管理技術	１名
その他	４名



◇教育研修による人材強化と適正な評価制度

当社は、階層別の教育研修を実施し、社員の一層のレベルアップに取り組んでおります。また、スキルに応じた職能等級制度を構築し、各人の多様な能力に応じた評価制度を実施しております。

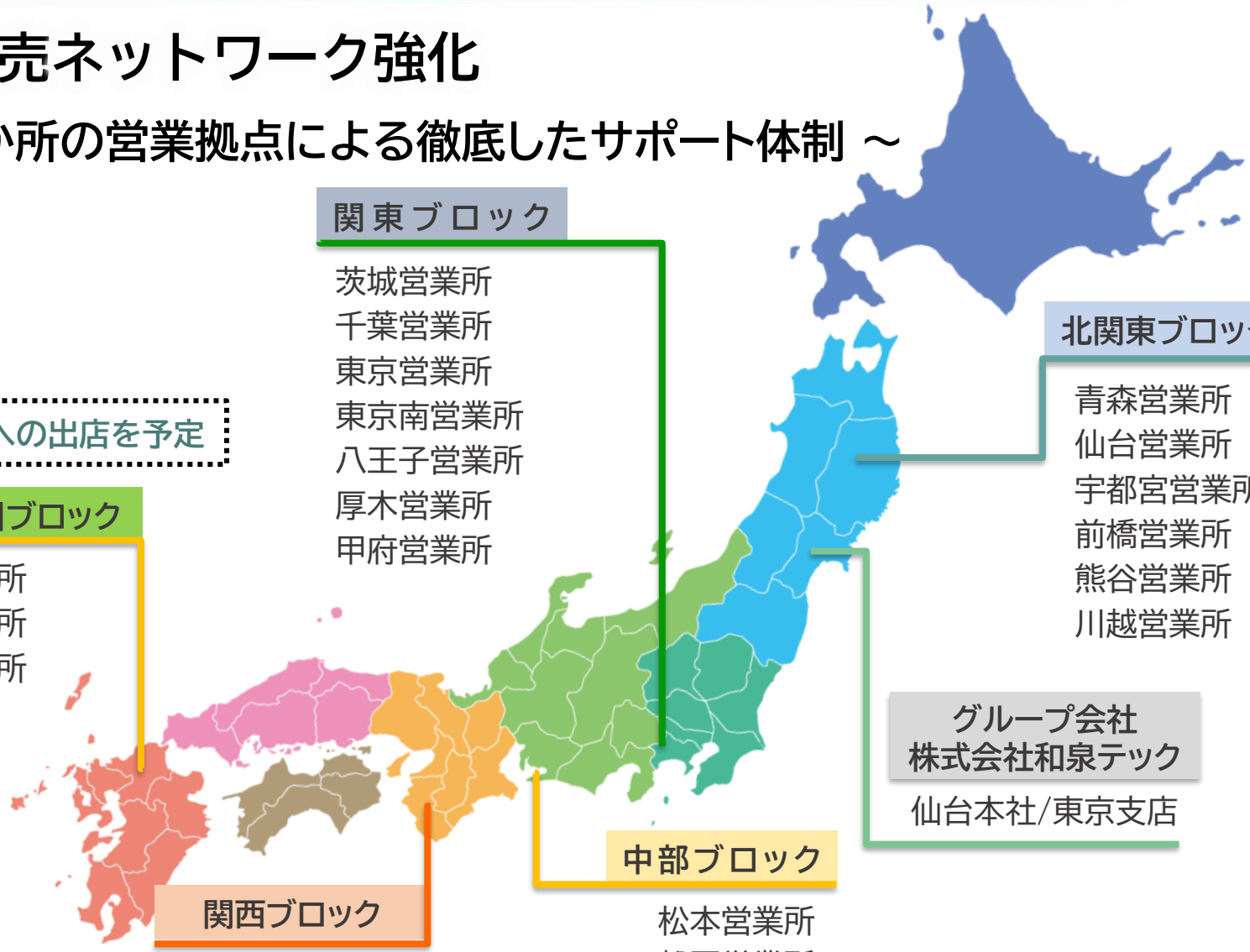


研修施設での研修の様子

株式会社 鳥羽洋行

5. 販売ネットワーク強化

～ 国内23か所の営業拠点による徹底したサポート体制 ～



関東ブロック
- 茨城営業所
- 千葉営業所
- 東京営業所
- 東京南営業所
- 八王子営業所
- 厚木営業所
- 甲府営業所

北関東ブロック
- 青森営業所
- 仙台営業所
- 宇都宮営業所
- 前橋営業所
- 熊谷営業所
- 川越営業所

※山陰地区への出店を予定

中国・九州ブロック
- 広島営業所
- 福岡営業所
- 大分営業所

グループ会社
株式会社和泉テック
- 仙台本社/東京支店

中部ブロック
- 松本営業所
- 静岡営業所
- 名古屋営業所
- 四日市営業所

関西ブロック
- 滋賀営業所
- 大阪営業所
- 兵庫営業所

株式会社 鳥羽洋行

5. 販売ネットワーク強化

～ 海外３ヵ国、５ヵ所の営業拠点を配置 ～

中 国

鳥羽（上海）貿易有限公司 （2008年）

（同公司）深圳分公司 （2011年）

（同公司）蘇州分公司 （2014年）

タイ

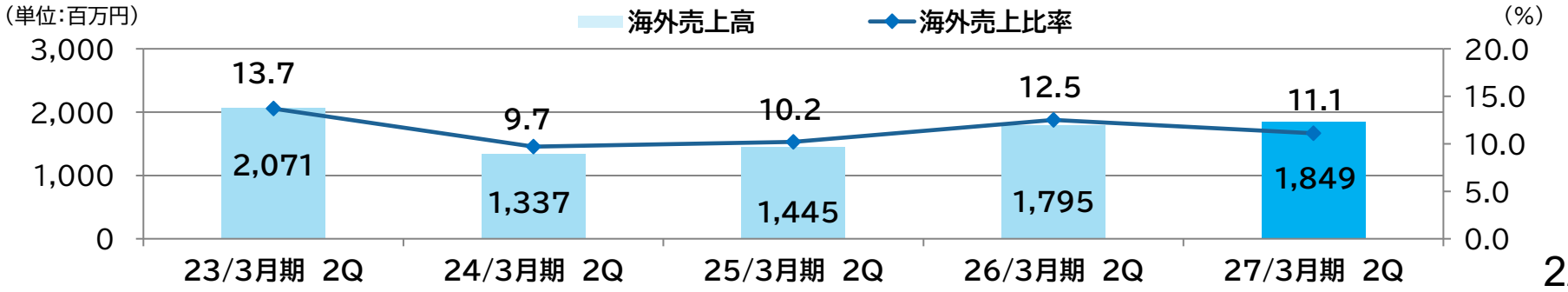
TOBA （THAILAND）CO.,LTD.（2012年）
所在地：バンコク

ベトナム

TOBA,INC.（VIETNAM）CO.,LTD（2020年）
所在地：ハノイ



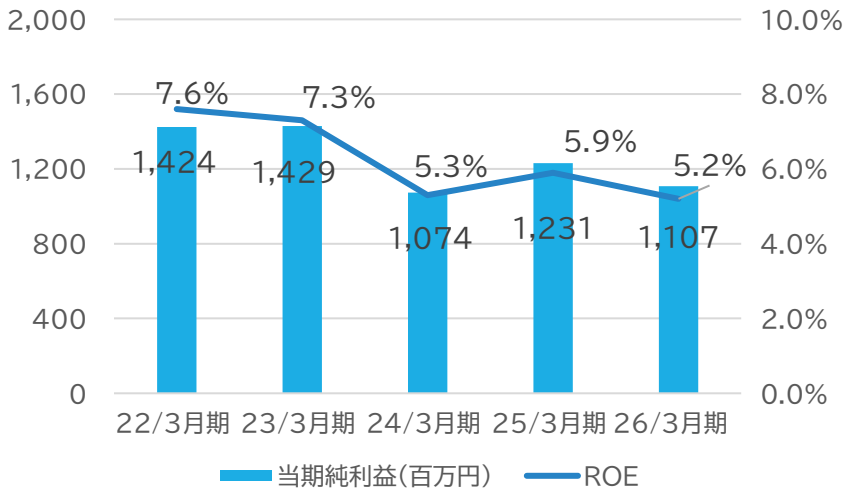
＜海外売上高と海外比率＞



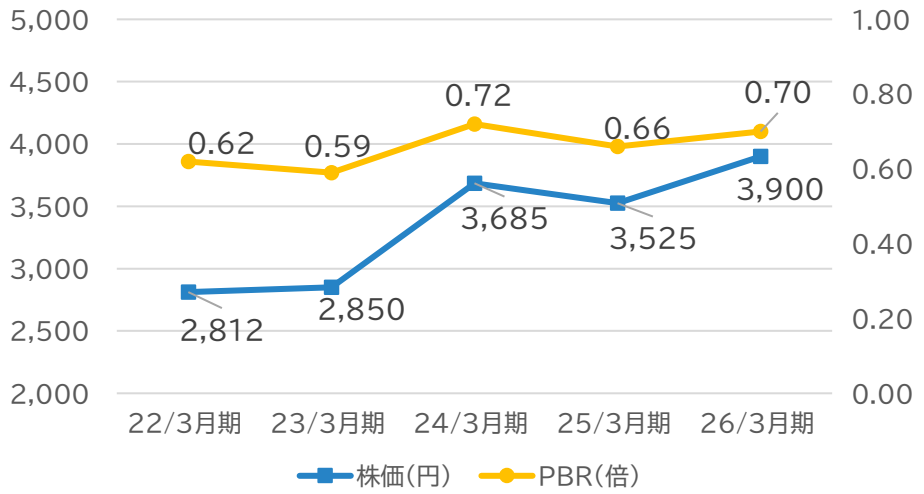
企業価値の向上　経営指標:ROE 8% / PBR 1倍以上

中期経営計画における事業拡大戦略の実行と業務効率化の推進による収益性の向上を目指します。 人的資本への積極投資を行い、IR活動や非財務情報の適切な開示及び最適な株主還元(配当・自社株買い等)を実行し、株式市場からの評価を得ることで企業価値の向上を目指します。

ＲＯＥと当期純利益の実績推移



ＰＢＲと株価の実績推移



売上高 (予想)	当期純利益 (予想)	株価 (26/9月末)	年間配当 (予定)	配当性向 (予定)	配当利回り (予定)	ROE 自己資本利益率 (予想)	PER 株価収益率 (予想)	PBR 株価純資産倍率 (9月末実績)
320億円	12.4億円	3,900円	160円	50.5%	4.1%	5.6%	12.3倍	0.68倍

※上記の数値は、公表の連結業績予想数値と2026年9月末時点の株価にて算出しております。

株式会社 鳥羽洋行

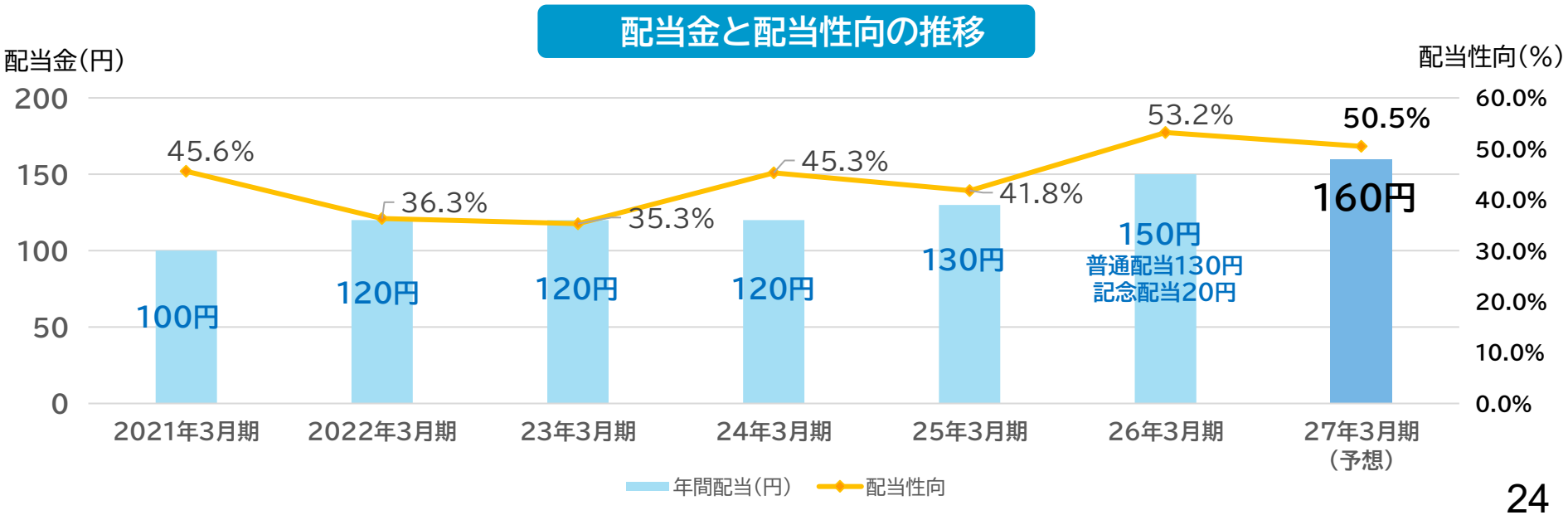
企業価値の向上　株主還元について

＜株主還元に関する基本方針＞　※2026年11月6日リリース

将来に亘って安定した経営基盤を維持するために、継続的な成長と配当の透明性を確保することで、株主の皆様から安定的なご支援を得られることを主眼とする。

一株当たりの配当金は、DOE（連結株主資本配当率）2.0%を下限とし、
連結配当性向を50%以上とする。

上記に加えて、自己株式の取得等の間接的な株主還元についても機動的に対応する。



この資料には、2026年11月9日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

[問い合わせ先]

株式会社　鳥羽洋行
管理本部総務グループIR担当

住　　所：〒112-0005
東京都文京区水道2丁目8番6号
電話番号：03-3944-4031
F A X：03-3944-4091
E メール：kanri-01@toba.co.jp